

(別紙)

平成20年6月5日

農林水産省政策評価会林野庁専門部会委員から出された主な意見

平成20年6月3日(火曜日)に開催された農林水産省政策評価会林野庁専門部会において、「平成19年度政策の実績評価書(案)」について委員から以下のような意見が出された。

- ・ 施策全体の評価としては概ね順調に推移としているが、様々な課題がある中で施策の効果を的確に評価できるよう、目標の検証が必要ではないか。
- ・ 違法伐採対策については、国内の対策も重要であり、記述する必要があるのではないか。
- ・ 5年間で4千集落の山地災害防止機能の確保を目標としているが、ここ数年の山地災害の発生について、4千集落以外の状況についても把握が必要なのではないか。
- ・ 保全すべき松林が適切に保全されている都府県の割合や山村の地域産物等販売額など、目標・指標によっては数値が不安定なものがあり、安定性を向上させる観点で指標等を見直した方がいいのではないか。
- ・ 「望ましい林業構造の確立」の指標「森林組合に占める中核組合の割合」については、森林組合の合併によって得られた効果が現れる指標にした方がいいのではないか。
- ・ 国産材の供給・利用量については、製材品やチップなど用途別と全体需要量に対するシェアも分かるようにした方がいいのではないか。